

野党の要求無視して国会を閉じた政府・与党

東京都議選・衆議院総選挙に勝利し、政治の流れを大きく変えよう！

新型コロナ対策の必要性を踏まえ、会期延長を求める野党の要求を無視し、通常国会は16日に閉会しました。国会閉会後に菅政権は、10都道府県の緊急事態宣言が20日に期限を迎える中、沖縄県を除き、緊急事態宣言を解除。さらに、政府の感染症対策専門家組織の委員らが、デルタ株により、

7月中にも感染の再拡大の可能性がある」と指摘する中、東京五輪・パラリンピックを有観客で開催することも決めました。コロナ対策で迷走し、国民に対するリスクの説明も放棄する菅政権。東京都議選、そして衆議院総選挙で立憲民主党など野党の勝利で政治を変えるために頑張りましょう。

感染者数が多いのに、なぜ緊急事態解除？

衆院議院運営委で吉川元議員



17日の衆議院議院運営委員会で吉川元議員が、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の区域変更につ

いて、立憲民主党を代表して質問に立ちました（写真・上）。

吉川議員は、今回沖縄県を除く9都道府県で20日に緊急事態宣言を解除することについて「前回に緊急事態宣言を解除したとき（3月21日）よりも東京都での新規感染者数は30%も多い」として、今回の解除に疑問を呈しました。これに対して西村康稔担当大臣は、病床のひっ迫を抑えていることが解除の理由だと答弁しました。また、吉

川議員は今回、大規模イベントの収容人数の上限を1万人まで引き上げることに関連し、会場内での飲食・飲酒も容認するのかどうか質問。西村大臣は、通常の飲食店同様、イベント会場内でも「午後7時までの提供は可能」とする見解を示しました。

関連して吉川議員は、東京五輪・パラリンピックの会場でも、同様に飲食・飲酒を可能にするのか迫ったところ、西村大臣は「IOCと組織委員会が検討中」と答え、政府としての考え方は示しませんでした。

さらに吉川議員は、感染が再び拡大した場合、東京五輪・パラリンピックの期間中でも緊急事態宣言を発出するのかどうか迫りました。西村大臣が、感染状況や医療提供体制如何で「緊急事態宣言を機動的に発動していく」と答弁したことを踏まえ、吉川議員は、国民の命が脅かされかねない事態になった場合、五輪・パラリンピックの中止をIOCに要請する考えはあるのかと重ねて質問。しかし西村大臣は、大会開催の判断権限はIOCにあると質問の趣旨をすり替えた上で、「国民の命と健康を守ることが最優先」と、菅総理同様のフレーズを繰り返しました。

選挙戦に勝ち抜くことが私たちの責任

両院議員総会で枝野幸男代表



「総選挙はスタートした。ここから衆院の皆さんは選挙に全力投球だ。選挙を勝ち抜くことが感染症を乗り越えるため、私たちに課せられた責任だ」——通常国会会期末の16日、

国会内で開かれた両院議員総会で、枝野幸男代表が、熱く訴えました（写真・上）。

枝野代表は、立憲民主党に対して、偏西風や季節風ほ

どの大きな追い風が吹いているわけではないが、それぞれの選挙区で「今の政治を変えなければならない」というつむじ風を作り、全国に持ち合い、政権交代のうねりにしていこうと強調しました。

また、今月25日告示・7月4日投票の東京都議会選挙（立憲民主党は公認候補28人・推薦候補5人）について「過去の歴史を振り返れば、都議会選挙での勢いが衆院選挙につながったということは否定できない」と述べ、都議会選挙に勝利することが、総選挙勝利の重要なステップであるとして議員に協力を求めました。

最後に枝野代表は「東京の緊急事態宣言が解除されることになれば、私も全国を回らせてもらうつもりだ。長く熱い戦いを共に乗り切り、この秋にはしっかりと新しい政権をつくる」と述べ、政権交代に向けた強い決意を示しました。

職域接種で強要・圧力の排除を

参院総務委員会で吉田忠智議員



10日の参議院総務委員会で吉田忠智議員（写真・左）が質問に立ち、新型コロナウイルスの職域でのワクチン接種について「国民の中には健康上の不安を抱えて接種を拒

む人、ワクチンに対する抵抗感を持つ方々が少なくないが、職場などで同調圧力が働くのではないかと質問し、接種にあたり、差別や圧力が働くことのないよう求めました。山本博司・厚労副大臣は「接種にあたっては、本人の意思を確認し、接種を強要することがないよう留意することを職域接種を実施する要件の一つとしている」と答弁。

これを受け吉田議員は、立憲民主党が9日に提出した「新型コロナウイルス感染症に関連する差別の解消の推進に関する法律案」への理解を与党に求めました。

第1回運営委員会を開催

役員の補充、当面の活動について意見交換し、PT設置へ

6月12日に社会民主主義フォーラム第1回運営委員会をZoomを利用したオンラインで開催し、総会以降の地方フォーラムの結成状況や会員登録などの現状を共有化。その上で当面の活動計画などを確認しました。以下、確認事項の要旨を紹介します。

■役員の補充（結成総会確認事項）について

副代表 井加田まり（いかだ・まり）
富山県議会議員、社民フォーラム富山副代表
運営委員 矢野敦子（やの・あつこ）
立憲民主党本部事務局（政務調査会所属）

■社会民主主義フォーラム自治体議員団役員

議長 高田良徳（たかだ・よしのり）
事務局長 羽田圭二（はねだ・けいじ）

■下半期の中心活動

- (1) 中央への会員登録の完了、会員拡大
- (2) 個人加盟のフォローや空白県対策
- (3) 情報提供媒体（全国通信、SNS、機関誌など）の改善
- (4) 活動や経験を交流する「全国セミナー」の総選挙後の開催検討
- (5) 労組やフォーラム平和・人権・環境との関係強化

(6) 総選挙闘争・自治体選挙への積極的な関与

■検討事項

(1) ブロック協議会（仮称）設立に向けた準備

すでに結成済みの東北ブロックに続き、当面、「東京・関東ブロック」「九州ブロック」の設立に向けて関係者と協議

(2) オンラインの利用促進

(3) 各種プロジェクトの設置

中央と地方のフォーラムが連携して各種運動や研究活動のネットワークづくりを進めるため、中央・地方から担当者を選出して運営にあたる

①情報提供のあり方に関するPT

インターネットやSNSを利用した情報提供のあり方、機関誌発行の可否を含めた検討

②大衆運動に関するPT

労働運動、反基地・平和、脱原発、護憲などの諸課題でのフォーラム内のネットワーク形成

③理論研究に関するPT

各党の政策、社会民主主義の理論、経済や税・財政のあり方についての研究

(4) 幹事会・事務局体制の補強

(5) 連続講座の開催

2021年度予算・地方財政計画資料集

社会民主主義フォーラムとして初めて発刊する資料集です。自治体議員の皆さん、労働組合役員・活動家の皆さんには、必ず役立ちます。

【内容】

■2021年度地方財政計画について

……飛田博史

■2020年度第3次補正予算資料

■2021年度予算関係資料

■2021年度税制改正関係資料

■2021年度地方財政計画関係資料

■2021年度地方関係施策資料

【頒価】CD版のみ・1枚2000円

ご注文は、社会民主主義フォーラム事務局

電話… 03・6272・8135

ファックス… 03・6272・8136

メール：forum-cho@iaa.itkeeper.ne.jp まで

党員拡大運動実施中！

立憲民主党は4月1日から第1期の党員・協力党員などの拡大運動を展開中。申込用紙など必要な場合は事務局までお尋ねを

あなたのための政治

多くの方が抱える困難、社会の不安、弱者への不安。この課題をしっかりと見つめて、誰もが安心して暮らす社会を実現しようとする。それが私たちの目標です。

皆さんが主役です。私たち立憲民主党は「右でも左でもなく、前へ」あなたとともに進みます。

時代の扉を開くのはあなたです。皆さん、一人ひとりの力を結集して、立憲民主党には、あなたの力が必要です。

登録受付中！！

立憲民主党 党員募集 (サポーターズ)

立憲民主党に参加して下さい。

○党員資格
党員及びそれに準づく政策に賛同し、選挙の場から声を届けることと政治の発展に貢献しようとする18歳以上の日本国民。

お申込み方法	党員資格	党費	代表選挙
郵送申請又は地方支部にて直接受け付け <td>4月1日を基準日とし、本部登録日から翌年度の3月まで。 <td>党費：月額4,000円（月額代金含む） 協力党費：月額2,000円（月額代金含む） <td>代表選挙において党費及び協力党費の納入義務がある。 </td></td></td>	4月1日を基準日とし、本部登録日から翌年度の3月まで。 <td>党費：月額4,000円（月額代金含む） 協力党費：月額2,000円（月額代金含む） <td>代表選挙において党費及び協力党費の納入義務がある。 </td></td>	党費：月額4,000円（月額代金含む） 協力党費：月額2,000円（月額代金含む） <td>代表選挙において党費及び協力党費の納入義務がある。 </td>	代表選挙において党費及び協力党費の納入義務がある。

立憲民主党 入党申込書

氏名 フリガナ

お名前

ご住所

生年月日 西暦 年 月 日 性別

メールアドレス

電話番号

立憲民主党の綱領、政策に賛同します。
18歳以上で日本国籍を有しています。